



↑ 東図書館「うつのみやの魅力再発見」
宇都宮ブリッツェントークイベントの様子

第225号の主な記事

- 1面 宇都宮ブリッツェントークイベント・読書生活
 - 2面 宇都宮ブリッツェントークイベント
 - 3面 けいちゃんのワークシヨップ・予約ベスト10
 - 4面 リサイクル市の結果・調べ方のツボ
- ター



↑ 笑顔で質問に答える、宇都宮ブリッツェンの
鈴木譲（すずき ゆずる）選手（左）と
柿沼章（かきぬま あきら）社長（右）

どしどし

第225号

2019年4月1日

宇都宮市立

中央図書館

東図書館

南図書館

上河内図書館

河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

読書生活



横川東小学校司書
廣中 弘美

子どもと本の橋渡し

小学生の頃、バス通学でした。帰りに公民館に寄って、本を借りて帰ることを習慣にしていました。当然、バスの中で借りた本を読みふけり、はつと気づけば、自分が降りる停留所は過ぎていきます。仕方なく、おずおずと運転手さんにそのことを申し出て途中で停めてもらい、家まで歩いて帰りました。高校生になっても、読みふけてしまつて降りるのを忘れることが何度ありました。

今、縁があつて、小学校の図書室にいます。子どもたちが借りたい本を平等に手渡すために、予約を行っています。子どもは、自分が借りたい本の書名を正しく言えるとは限りません。そんな時は、子どもと一つ一つ確認しながら、予約を行っています。予約した本を受け取る時の子どもの笑顔を見ると、私も嬉しくなります。子どもたちがお気に入りの本と巡りあえますようにと願いながら、図書室の環境整備に努め、子どもと本の橋渡しをしています。





宇都宮ブリッツェン トークイベント



↑ 鈴木選手が風よけ役となって、風の抵抗を体感

2月10日(日)に東図書館で、ビジネス関連講座「うつのみやの魅力再発見」宇都宮ブリッツェン トークイベントを開催しました。

講師に、サイクルスポーツマネージャー ジメント株式会社代表取締役社長の柿沼章さんと宇都宮ブリッツェンの鈴木譲選手をお迎えし、45名の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。

トークは、「宇都宮ブリッツェンとロードレースの魅力」をテーマに、初めに、ロードレースの魅力の要因を生み出す「プロトン(集団)」について、その戦術・役割分担・序列などの説明をしていただきました。その後、2018年のジャパンカップ サイクルロードレースを題材に、監督の提案する戦術を聞いた時の選手たちの思いや、レース中の駆け引きについてお話いただきました。

参加者は、選手自身の言葉に、引き込まれていました。

→ スクラップブックをみる鈴木選手



東図書館2階科学・技術・ビジネス資料室「宇都宮プロスポーツアーカイブズコーナー」では、宇都宮市を拠点とするプロスポーツチームの関連資料を収集していますので、ぜひご利用ください。



↑ 会場では、チームの歴代ジャージと、新聞記事のスクラップブックや自転車に関する本などを紹介しました

また、自転車2台と扇風機を使用して、代表者に風よけ役のいる時、いない時の風の抵抗の違いを体感していただきました。



↑ 講師の平田景さん

まず「バナナを食べたら何が残る？」というフリップを使ったクイズ。次に、ご自身の著作である『いぶくろちゃん』(平田昌広/文 平田景/絵 学研プラス)を読んでもうございました。

最後に工作を行いました。ファイルの中に「いぶくろちゃん」の型を挟み、マジックでなぞって自分の「いぶくろちゃん」を作成。三角や丸く切った紙を利用したり、各自で切ったりしながら食べ物を作り、食べさせてあげました。代表で何人か前に出て発表もしました。

短い時間でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。



南図書館では、絵本作家の平田景(ひらたけい)さんを講師にお招きし、絵本のワークショップを開催しました。

当日は朝から雪の予報が出ていましたが、子ども24人、大人16人、総勢40人が参加しました。

順位	タイトル	著者名	出版社
1	沈黙のパレード	東野圭吾	文藝春秋
2	大家さんと僕	矢部太郎	新潮社
3	昨日がなければ明日もない	宮部みゆき	文藝春秋
4	未来	湊かなえ	双葉社
5	一切なりゆき	樹木希林	文藝春秋
6	かがみの孤独	辻村深月	ポプラ社
7	すぐ死ぬんだから	内館牧子	講談社
8	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA
9	フーガはユーガ	伊坂幸太郎	実業之日本社
10	ブロードキャスト	湊かなえ	KADOKAWA

予約
ベスト 10



平成31年3月13日現在

平成 30 年度

リサイクル市の結果



リサイクル市は、図書館で不要になった図書や雑誌、寄贈された図書を有償で市民の皆様に提供する事業です。各図書館で開催された結果は下記のとおりです。

ご協力いただき、ありがとうございました。収益は新しい図書の購入にあてております。

平成 31 年度も各図書館でリサイクル市を開催する予定です。事前に「広報うつのみや」やホームページ等でお知らせしますので、ぜひ、ご来場ください。

平成 31 年度 リサイクル市予定

開催場所	開催予定日
東図書館	5 月 24 日、25 日
中央図書館	10 月 6 日、7 日
南図書館	11 月 10 日
上河内・河内図書館	12 月 6 日、7 日

区分	中央図書館	南図書館	東図書館	上河内図書館 河内図書館	合計
実施日	9月30日(日) 10月1日(月)	11月11日(日)	12月7日(金) 8日(土)	1月25日(金) 26日(土)	—
購入者数	491人	316人	432人	207人	1,446人
販売冊数	2,757冊	1,421冊	2,474冊	1,284冊	7,936冊
販売額	240,150円	104,050円	225,650円	106,300円	676,150円
1人当たり購入冊数	5.6冊	4.5冊	5.7冊	6.2冊	5.5冊
1人当たり購入額	489円	329.2円	522円	513.5円	467.6円

調べ方

特定の単語の意味ではなく、栃木県の方言全般について調べたいことなので、栃木県の方言の書架（分類 K 810）で「方言辞典」以外にどのような資料があるか探しました。また、方言を学ぶための基礎的なテキストがないか、一般書の書架（分類 818）も調べました。

回答

- ・学術的なもの
 - 『日本のことばシリーズ栃木県のことば』平山輝男／編（明治書院 2004 年）
 - 『栃木の方言をたずねて』森下喜一／著（白帝社 1999 年）
 - 『栃木方言の源を求めて』森下喜一／著（随想舎 2006 年）
 - 『方言学入門』木部暢子・他／編著（三省堂 2013 年）
- ・楽しく紹介したもの
 - 『こじゃっぺこくでね〜』1・2 まいぷれ那須／編（随想舎 2006・2009 年）
 - 『おもしろ方言あいうえお』嶋均三／著（下野新聞社 2000 年）
 - 『とちぎ方言日記 うしろたんころ』嶋均三／著（下野新聞社 2001 年）

中央図書館作成



実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

ファイル 30

地域学習のテーマとして、栃木県の方言について学びたい。
また、栃木県の方言を楽しく面白く、紹介した書籍はあるか。

しあつめくら

第12回 宇都宮市環境学習センター (愛称：環境未来館)

宇都宮市環境学習センターは、環境への負荷の少ない循環型社会を実現するため、地域から地球規模までの環境問題について、正しい理解を深め、実践するための環境学習拠点です。この施設は、グリーンパーク茂原のリサイクルプラザに併設されています。平成13年度に開設、平成30年12月には、累計利用者50万人を突破しました。

■施設について

センターの1階では、パソコンで「こみ分別ゲーム」や、リサイクル工作で遊ぶことができます。他にも、4階には研修室や工作室などの部屋があり、環境団体やグループなどが利用しています。



↑建物の外観。駐車場は100台(無料)、大型バス用・身障者用もあります。



↑ペットボトルのふたで作ったミヤリ

センターの大きな役割として、学習機会の提供があります。自分で観て、触って、聴いて、調べて、考えるという「体験」ができる講座を年間250回以上、開催しています。清掃工場の見学コースでは、家庭ゴミの分別などをわかりやすく展示してあります。この見学は事前に申し込み、2名から80名まで利用できます。今年度は800人以上の方が見学に訪れたそうです。



↑環境に関する本やパンフレットがある図書コーナー。



また1階には展示室や図書コーナーがあります。スタッフの方々が近くの森で拾った木の実や、ハチの巣・ヘビの抜け殻などもあり、驚きと発見がいっぱいです。図書コーナーには環境に関する本を中心に収集しているとのこと。本の貸出も2週間可能です。パンフレット類も充実しており、幅広い情報を知ることができるコーナーです。

DATA

宇都宮市環境学習センター (愛称：環境未来館)

- 所在地 〒321-0126
宇都宮市茂原町 777-1
- 連絡先 028-655-6030
- 休館日 月曜日・12/29~1/3
※施設点検により臨時休館あり
- 開館時間 9:00~17:00
- ホームページ
<http://www.utsunomiya-miraikan.com/>



↑センター長の釜井さん



↑再生品として出品された自転車

■施設を利用するには
1階の展示室と図書コーナーは、どなたでも利用できます。4階の研修室と工作室は環境に関する研修会などに利用できます。詳しくは窓口でおたずねください。

■センター長からの一言

環境について色々なことが学べる施設です。ぜひ、環境のことを考えるきっかけに遊びに来てください。また、毎月、行っている再生品の提供はゴミだった家具や自転車などをキレイに整備したものが多く出品されますので、ぜひ、ご参加ください。

館報としゃかん 第225号

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>
(編集発行)

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782



◆編集後記

平成最後の「館報としゃかん」です。この号が発行になるときには、新元号が発表になり、何かとソワソワしているかもしれませんね。気持ちも新たに、いつもとは違ったジャンルの本に挑戦してみてください。
(東)